

5 スタートカリキュラムをアップデートしよう

活動 指導 体制

モデル事業開始当時、モデル校には、すでに作成されたスタートカリキュラムがありました。それは小学校で内容や方法、時間の設定等を十分検討して作成したものです。

一方、今日の教育では「接続」の観点から「幼保小が協働して架け橋期のカリキュラムを作成すること」が求められています。また作成したものは、児童の実態に合わせてアップデートすることが大切です。

子どもたちの育ちを共に支え、資質・能力をつなぐために何ができるかということです。本事業の中で、モデル園とモデル校はどのように「協働」していったのか共有します。

令和4年

入学当初の1年生担任の戸惑いを聞いてみた

どんな子が入学してくるのかな？

どのように関わったら良いのかな？

困ったことを伝えられない子が多いかも？

学級の子全体に伝えながらも個別の働きかけが必要

主体的に学習に取り組む姿勢とは？

本校のカリキュラムにある「安心」をキーワードにどのような工夫ができるかな？



小学校

園で慣れ親しんできた遊びを小学校で取り入れると良いのでは？

遊びの引き出しがほしいな。

みんなで遊びを楽しんだら一体感をもてるよね。

幼稚園の先生の関わり方や遊びは学校でも参考にできますね。

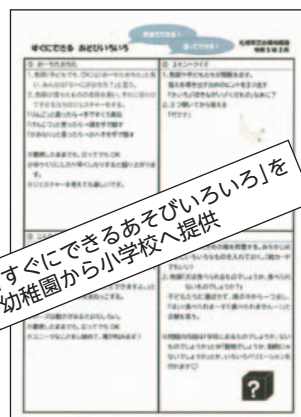
園の遊びの様子を伝えたら生かせるかな？

すぐできる、何も道具がなくてもできる遊び、いっぱいありますよ！

ぜひ、幼稚園の遊びも見に来て！



幼稚園



「すぐにできるあそびいろいろ」を幼稚園から小学校へ提供

分かったことや気付いたことは、スタートカリキュラムに生かそう

「すぐにできるあそびいろいろ」の詳細はコチラ



令和5年

スタートカリキュラムを実践してどうだったかな？



小学校

初めて1年生の担任をしたけれど、すごく参考になった！

「あそびいろいろ」は毎日使っていますよ。

校内の研修で詳しく話を聞けたので、入学当初の指導のポイントを意識できましたよ。

「10の姿」は研修で初めて知った。学習指導要領にも記載があった。知っておかなければならないことだった。

1年生の学習で大切にしている「人と関わる力」「様々な物の見方」「言葉で表現する力」はまさに「10の姿」ですね。

10の姿は
4 ページ



幼稚園



アップデートする時はどんな内容があると指導の充実につながるかな？



小学校

幼児期の終わりの姿が、小学校でこんな姿に…という流れがあると良いのでは？

それと普段の園の生活が知りたい。写真1枚あるだけでも想像しやすいと思う。

「年長さんってこういうことできるの？」を園の先生に聞いてみようか。

先生方が1週目の週案を立てる時に参考になるものがあればいいんだね。

小学校の疑問を聞くことで、幼児期に意識して育みたいことや必要な環境への気付きにもなると思う。

ざっくばらんに質問して！



幼稚園

1年生がゼロベースじゃないことが分かればいいね

幼稚園の先生に聞いてみたらこんなアドバイスがあったよ

例 入学4日目 せいがかがはじまるよ(生活科)



小学校

学習の中で自己紹介をするのだけれど、入学したばかりの子どもたちは話せるのかな？ 友達の紹介は最後まで聞けるかな？



幼稚園

前に出て話す緊張する子もいるかもしれないけれど、園では自分の気持ちを言葉で伝えることや友達や先生の話に耳を傾けることをいろいろな機会を通して経験していますよ。

時間や人数を区切ってみては？

視覚的なものがあるとより興味をもって聞けるね。



週案に入れ込んだら次年度活用できるのでは？
幼稚園と小学校が協力・工夫して作成した週案はコチラ

誰が1年生の担任になっても大丈夫なように(全市学習会 白楊小学校発表資料より)

スタートカリキュラム～見直しに向けて

①毎年、誰でも活用できるように→ **記録化・見える化**

②『0からのスタートではない』→ **教えることの精選・最適化**

③『安心』をキーワードに → 幼小の**つながり**から作りあげる

4月→活動スタート！ 連携計画・スタートカリキュラムに沿って

★お互いの参観
→4月1年生、2月の園児研究授業…

★研修→スタカリ研修
雪遊び研修…

『10の姿』
『幼児期の学び』
+
『子どもの実際の姿』

★交流→5・5デー
おもちゃランド
よさこい…

★職員同士の会議
・打ち合わせ

学びながら『蓄積』『共有』

3月→1年の振り返り スタートカリキュラムの見直し

記録化
文書データ、画像など指導の内容が分かるものは校内の共有フォルダへ保存

見える化
年度前にスタートカリキュラムや1年生の実態・生活について全職員で研修

最適化
園の様子を見聞きし、ゼロからのスタートではないことを知って指導に生かす

17

カリキュラムがつながる

年間指導計画 年長1月～3月のねらい

- 園生活が残り少ないことを感じながら、目的や見通しをもって意欲的に遊ぶ。
- 友達と互いによさを認め合いながら、園生活を楽しむ。
- 自分の成長を感じ、喜びや自信をもって生活する。

学級の仲間意識が
深まっていく時期

幼児期



年長2月「年少年中さんを招待しよう」

年少年中さんのために～

もうすぐ幼稚園とお別れして1年生になる年長児。「みんなはどんな気持ち？」と担任が聞くと、「ありがたうの気持ち」と子どもたち。これまで一緒に過ごしてきた年少・年中さんに、あとがたの気持ちを込めて「サンキューランド」を計画することにした。幼児がこれまでの経験を生かして考えたり、友達や教師と相談したりして、一人一人が自分の力を発揮しながら友達と共通の目的に向かっていく楽しさを味わえるようにする。

言葉による
伝え合い
社会生活
との関わり



健康な
心と体
自立心

数量や図形、
標識や文字などへの
関心・感覚



言葉による
伝え合い
協同性



豊かな感性
と表現
思考力の
芽生え



自立心
言葉による
伝え合い

年少・年中さんのために、どんなことをしたいか意見を出し合おう。今までにやってきた遊びを思い出しながら考えられるようにします。

自分がやりたいことを決めたよ。お化け屋敷をしたい仲間が集まって相談しよう！「どんなお化け屋敷を作る？」「それいいね！」「衣装もあるね。」「僕は決まったことを紙に書くね。」

「ゲームはどうやって作る？」「段ボールがいいんじゃない？」「それならこうしたらいいんじゃない？」友達に自分の考えを重ねてもっと楽しくなる感覚を支えます。

「先生、これなんだけど、こうしたいんだけど。」教師は、子どもたちの思いを引き出し、ヒントを出したり調整したりします。

準備をしよう～

仲間と相談して決めたことを準備する。より本物みたいにつくりたいと追求する子どもたち。友達と力を合わせて必要な物を作りながら、新たに湧いてきたイメージを友達と伝え合ったり、友達と意見がぶつかったり話し合ったりしながら、準備を進められるようにする。

協同性
数量や図形、
標識や文字
などへの
関心・感覚



言葉による
伝え合い
思考力の
芽生え

豊かな感性
と表現
社会生活
との関わり



思考力の
芽生え
協同性
言葉による
伝え合い
数量的・規範
意識の芽生え
自立心



思考力の
芽生え



健康な
心と体

「動く仕掛けは洗濯ばさみのばねを使うといいんじゃない？」「先生、調べたいからタブレット出して！」「これをあと100個あるね。」「俺、書くね。」「俺、切るね。」「じゃ、俺貼るわ。」

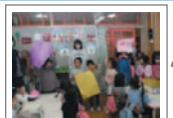
「それじゃあ怖くないよ。」「年少さんには怖過ぎるんじゃない？」「ミイラの包帯は何で作る？」「本物はこうなっているよ。」「そこ押さえて！」「言葉での思いの伝え合いを支え、粘り強く取り組めるようにします。」

お店ごとにできたものを発表し合い、学級みんなの取組への意識を高めます。「それいいね！」「とてきなところを認め合ったり、友達のアイデアに刺激を受け、自分たちの店にも取り入れたりする姿が見られます。」

自分たちでやってみよう！やってみるとうまくいかないことに気づき、教師に励まされて本番までに改善しようとします。

招待しよう～楽しんでもらえたね！大成功！
年少年中さんのために、という思いを表現しながら、目的を達成する満足感や、やり遂げた喜びを感じられるようにする。

言葉による
伝え合い
協同性



健康な
心と体
協同性

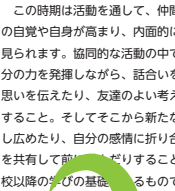
数量的・規範
意識の芽生え
自立心



健康な
心と体
協同性



健康な
心と体
協同性



健康な
心と体
協同性

年少年中さんの部屋へ行ってご招待。自分たちはもうすぐ小学校へ行くこと、今まで一緒に遊んだみんなに何かをあげたいという気持ち、いつどこで何をするのかを、自分たちの言葉で伝える場面をつくります。

いよいよ当日。「みんなで頑張ろう！」「エイエイオー！」皆の気持ちを合わせます。

年少年中さんに優しく言葉を掛けます。楽しんでもらえたね！楽しかったね！大成功！やり遂げた達成感でいっぱいです。

この時期は活動を通して、仲間の一人としての自覚や自信が高まり、内面的に一段と成長が見られます。協同的な活動の中で育つのは、自分の力を発揮しながら、話し合いを通して言葉で思いを伝えたり、友達のよい考えに気付いたりすること。そしてそこから新たな考えを生み出し広めたり、自分の感情に折り合いを付け、目的を共有して前に進んだりすること。まさに小学校以降の学びの基礎となるものです。団結力が増した子どもたち。入学する学校は違いますが、一人一人が自信をもってそれぞれの学校へ進みます。

この時期に育つ力

ることなどです。

これはまさに、小学校以降の学びの基礎となるものです。団結力が増した子どもたち。入学する学校は違いますが、一人一人が自信をもってそれぞれの学校へ進みます。

新しい生活が始まって

先生が変わっても

大丈夫！

友達と学校が違って

ちょっと困ったことがあっても

架け橋期

小学校

つないでいく成長～スタートカリキュラムへの思い

- 幼児期に育まれた土台をもとに、学校生活で自己を発揮できるように
- テーマは「安心」- 安心して活動できるカリキュラムの工夫
- ・人とのつながりから安心をつくる
- ・3つの「あ」から安心をつくる
- ・生活科を中心とした合科的・関連的な指導から安心をつくる

生活科「がっこうたんけん」

1次 ～がっこうをたんけんしよう～
学校探検を通して、学校の施設の様子が分かり、自分の生活を支えてくれる人たちの存在や安心して学校生活を送るためのきまりに気付くようにする。

言葉による
伝え合い

幼・保にはどんなお部屋があったかな？
白楊小学校には、どんなお部屋があるのかな。いくつお部屋があるのかな。探検してみよう。

学校の1階と2階を探検してみたよ。
いろいろなお部屋があったよ。
中に入りたいな。

2次 ～教室の中をくわしく調べよう～
特別教室の中をくわしく調べる活動を通して、そこにあるもののことや使用するときのきまりについて知り、今後の学習への意欲が高まるようにする。

協同性

ひみつのお部屋に入るための約束をみんなで作って、校長先生にお願いしてみよう。

校長先生に話したら、「いいよ」って
言ってくれたよ。約束を守ってお部屋
の中に入ろう。

健康な
心と体

3次 ～白楊小学校の先生たちと仲良しになろう～
白楊小学校の先生たちと仲良くなる活動を通して、学校生活への子どもの安心感がさらに高まるようにする。

白楊小学校にはどんな先生がいるのかな。
なかよくなりたいな。

仲良くするために、どんなことを
聞くとよいのかな。

国語「どうぞよろしく」
学校の先生に自分の名刺
を見せて自己紹介をする。
(関連)

道徳「あかるいあいさつ」
気持ちのよいあいさつを
することの大切さに気付く。
(関連)

数量や図形、
標識や文字などへの
関心・感覚

なかよしマップに先生たちから聞いたことを書いて貼っていく。

いろいろな先生と仲良くなれたよ。
白楊小学校のことを家の人に教えた
いな

幼児期の終わりにまでに育てほしい10の姿

健康な心と体
自立心
協同性
道徳性・規範意識の芽生え
社会生活との関わり
思考力の芽生え
自然との関わり・生命尊重
数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
言葉による伝え合い
豊かな感性と表現

道徳性・規範意識の芽生え

全部の階を探検したよ。でも、勝手に入っちゃいけないお部屋もあったよ。やっぱり、入るためにはお約束があるのかな。

体育「おにアそび」
道具の使い方や並び方を知る。運動遊びや体力づくり運動を行う。(関連)

健康な心と体

学校の3階と4階を探検してみたよ。
なんのお部屋なのかな。

数量や図形、
標識や文字などへの
関心・感覚

算数「いくつかな」
学校の人や物を使った数
調べをする。(関連)

1階に体育館があったよ。学校
マップに気付けたお部屋を書いて
いこう。

社会生活
との関わり

2年生が案内してくれることになったよ。うれしいな。

道徳性・規範意識の芽生え

探検で見つけたことを学校マップに貼っていく。みんなの発見を集めると、こんなにたくさん分かったよ。

協同性

社会生活
との関わり

お部屋の中のひみつがい
ろいろわかったよ。

人とのつながりから安心をつくる

次期最高学年として

- ・5・5年一・委員会活動
- ・ふれあいお別れ会

5年生

最高学年としての自覚

- ・朝の時間のお世話
- ・ふれあい活動
- ・掃除の仕方
- ・休み時間の交流

6年生

成長への気付き

- ・あさがあけのぼしプレゼント
- ・学校案内・フロック通足

2年生

1年生

安心

6年生や2年生との関わりを中心に、
学校生活のきまりを学んだり、主体的に学習に取り組んだりすることが
できるようにしていく。

自己を発揮

様々な学年と歯車がかみ合って…

子どもの思いを考慮した時間を工夫して

3つの「あ」から安心をつくる

あさのしかん	
1	「あんしん」をつくる時間 ・本の読み聞かせ ・6年生との交流 ・歌やリズム遊び ・ふれあいゲーム
2	「あたらしい出会い」をつくる時間
3	生活科を中心とした学習活動 ・学校探検 ・2時間続きでゆっくりと ・生活科を中心に他教科とのつながりかんがえる
4	教科等を中心とした学習活動 ・10～15分の短い時間にくぎる等の工夫
フレンドタイム	
5	「あさへの期待」をつくる時間 ・具体的な活動を伴う学習活動 ・1日の終わりに、明日への期待感を高める活動